

佐々木 朱里

- ・あの日私は下校途中で友達と一緒にいました。突然「ゴー」という地鳴りとともに大きな地震が発生しました。3分くらいで揺れがおさまり高台に必死に走って逃げて、そこで母と会うことができました。直後、大津波が来て恐怖と驚きしかありませんでした。この日は雪が降ってとても寒かったのを覚えています。
- ・3日後に別な避難所に移動し、姉と再会することができました。家族がみんな助かっていたことにとっても安心しました。しかし、津波で住む家がなくなり、私たち家族は半年間、避難所で生活をしていました。
- ・震災が発生したことで、避難所で避難している方と協力して生活し、地域の絆を深めました。また、多くのボランティアの方々と様々な支援をしてもらったり、交流を持ったりすることで、世界中の人との絆を感じることができました。もし、同じような震災が起きたとき、今度は自分が支援していきたいと思います。
- ・私の夢は保育士になることです。震災を受けたことで、将来、子供たちの被災した両親や祖父母、親戚を元気にし、たくさんの笑顔を届けられる保育士になりたいと強く思うようになりました。